



兼松株式会社

2026年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

（見通しに関する注意事項）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

2026年3月期第1四半期 決算概況

- 親会社所有者帰属四半期利益は、好調だった前年同期と比較して減益となったものの、通期見通しに対する進捗率は23%と堅調に推移
- 当期利益の通期見通しである300億円に向け、概ね計画通りに進捗

2026年3月期第1四半期実績

(単位：億円)	25/3月期 1 Q実績	26/3月期 1 Q実績	前年 同期比	増減率
収益	2,510	2,511	+1	+0%
営業活動に係る利益	118	106	△11	△10%
親会社所有者帰属四半期利益	75	70	△5	△6%
(調整後) 営業キャッシュ・フロー ¹⁾	61	△14	△75	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26	△19	+6	
	25/3月末	25/6月末	前期比	
ネットDER ²⁾	0.69倍	0.68倍	△0.01倍	
自己資本比率 ³⁾	25.2%	27.8%	+2.6%	

2026年3月期通期見通し

(単位：億円)	26/3月期 通期見通し	1 Q 進捗率
収益	11,000	23%
営業活動に係る利益	500	21%
親会社所有者帰属当期利益	300	23%
一株当たり年間配当金	115円	
連結配当性向	32.0%	

1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済
2) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本 (親会社の所有者に帰属する持分合計)
3) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

損益の状況

2026年3月期第1四半期 実績

(単位：億円)	25/3月期 1 Q実績	26/3月期 1 Q実績	前年 同期比	増減率
収益	2,510	2,511	+1	+0%
売上総利益	357	393	+36	+10%
販売費及び一般管理費	△276	△291	△15	-
その他の収益・費用	37	4	△33	△88%
営業活動に係る利益	118	106	△11	△10%
利息収支	△12	△11	+2	-
受取配当金	8	7	△1	△10%
その他の金融収益・費用	1	△1	△2	-
金融収益・費用	△3	△4	△1	-
持分法による投資損益	△0	4	+5	-
税引前四半期利益	114	106	△8	△7%
法人所得税費用	△38	△34	+4	-
四半期利益	76	72	△4	△5%
親会社所有者帰属 四半期利益	75	70	△5	△6%

■ 収益

食料セグメントや電子・デバイスセグメントなどが増収となった一方で、鉄鋼・素材・プラントセグメントや車両・航空セグメントが減収となり、全体としては横ばい

■ 営業活動に係る利益

売上総利益は増加した一方、販管費や為替損益に係るその他の費用の増加などにより、11億円の減益

■ 税引前四半期利益

営業活動に係る利益の減少に伴い、8億円の減益

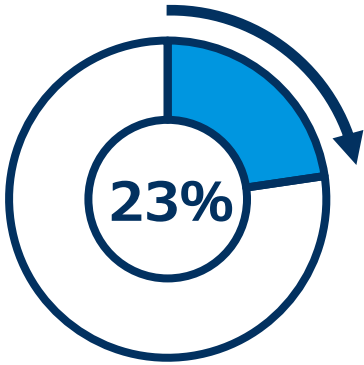
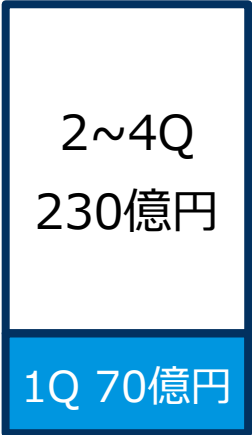
■ 親会社所有者帰属四半期利益

税引前四半期利益の減少に伴い、5億円の減益
4ページ「セグメント別四半期利益」参照

2026年3月期見通し

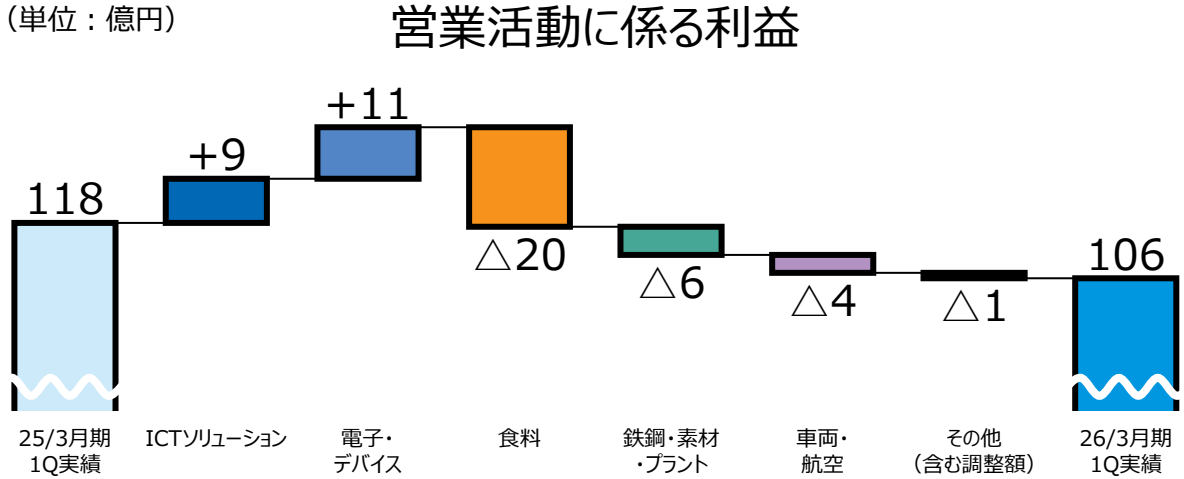
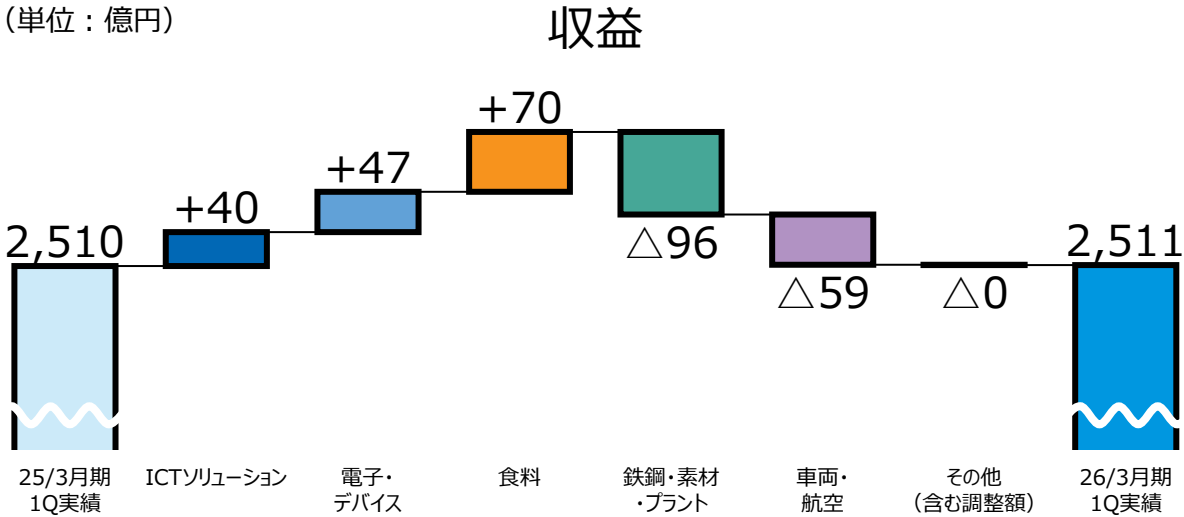
(単位：億円)	26/3月期 通期見通し	1 Q進捗率
収益	11,000	23%
営業活動に係る利益	500	21%
税引前当期利益	460	23%
親会社所有者帰属当期利益	300	23%
連結配当性向	32.0%	

親会社所有者帰属当期利益の見通し
通期見通し300億円 1 Q進捗率



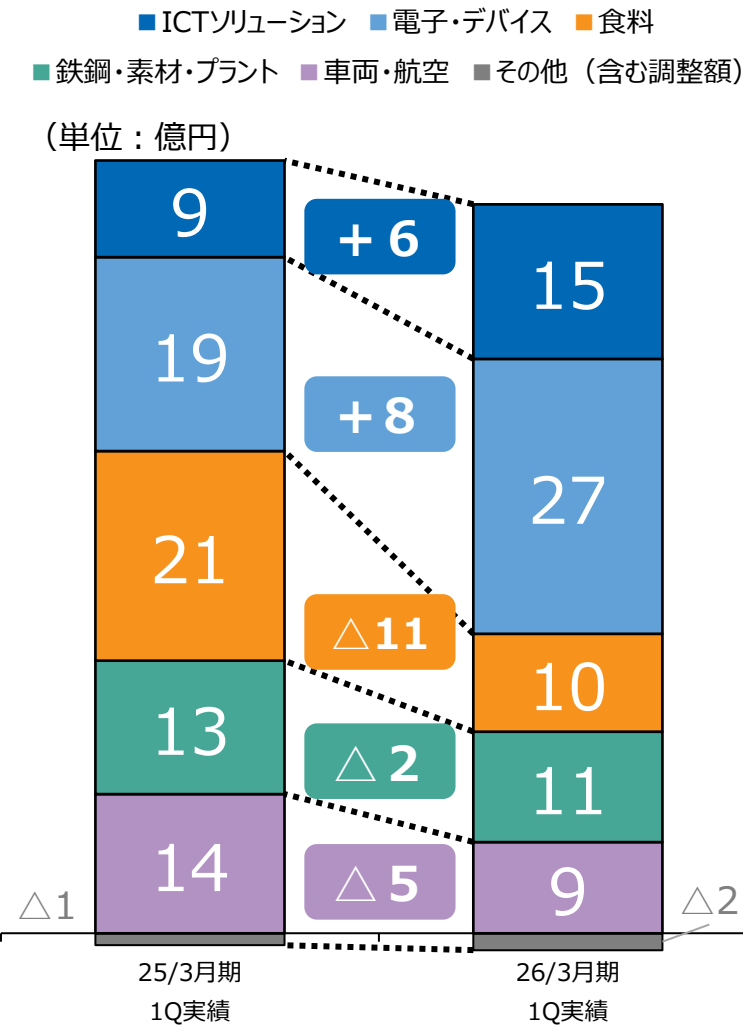
セグメント情報

(単位：億円)	25/3月期 1Q実績	26/3月期 1Q実績	前年 同期比	増減率	26/3月期 通期見通し	進捗率
ICTソリューション						
収益	167	207	+40	+24%	1,050	20%
営業活動に係る利益	14	23	+9	+64%	150	15%
親会社所有者帰属四半期利益	9	15	+6	+60%	105	14%
電子・デバイス						
収益	609	656	+47	+8%	2,750	24%
営業活動に係る利益	28	38	+11	+38%	137	28%
親会社所有者帰属四半期利益	19	27	+8	+42%	89	30%
食料						
収益	877	946	+70	+8%	3,850	25%
営業活動に係る利益	37	17	△20	△55%	81	21%
親会社所有者帰属四半期利益	21	10	△11	△53%	35	27%
鉄鋼・素材・プラント						
収益	498	402	△96	△19%	2,000	20%
営業活動に係る利益	21	16	△6	△27%	75	21%
親会社所有者帰属四半期利益	13	11	△2	△17%	38	28%
車両・航空						
収益	354	295	△59	△17%	1,300	23%
営業活動に係る利益	17	14	△4	△21%	58	24%
親会社所有者帰属四半期利益	14	9	△5	△34%	34	26%
その他（含む調整額）						
収益	5	5	△0	-	50	-
営業活動に係る利益	0	△1	△1	-	△1	-
親会社所有者帰属四半期利益	△1	△2	△0	-	△1	-
合計						
収益	2,510	2,511	+1	+0%	11,000	23%
営業活動に係る利益	118	106	△11	△10%	500	21%
親会社所有者帰属四半期利益	75	70	△5	△6%	300	23%



セグメント別四半期利益

親会社所有者帰属四半期利益



前年同期比の主な増減要因

ICTソリューション

6 億円増益

- 製造業や流通業向けのネットワークやシステム構築の案件が好調に推移したことに加え、サービスビジネスやセキュリティ需要の拡大も寄与し、増益

電子・デバイス

8 億円増益

- モバイル事業**：販路拡大の効果もあり販売台数が増加したことに加え、法人向け事業の伸長もあり、増益
- 半導体部品・製造装置事業**：前期に比べて半導体製造装置の荷動きが回復し、増益

食料

11 億円減益

- 畜産事業**：海外市況高によるコスト高、国内市況低迷の影響などにより販売が苦戦し、減益
- 食糧事業**：輸入米や大豆などが堅調に推移したものの、前年好調だった魚粉・魚油やコーンの反動減もあり、減益

鉄鋼・素材・プラント

2 億円減益

- 鉄鋼・鋼管事業**：国内鉄鋼子会社の売却益もあり、増益
- 環境関連事業**：前年同期に不稼働資産の流動化に伴う売却益を計上していた反動により、減益
- プラント事業**：前年同期に比べODA案件の件数が減少したことにより、減益

車両・航空

5 億円減益

- 車両・車載部品事業**：海外取引先からの部品受注減少などの影響により、前年同期比で減益

サブセグメント別情報

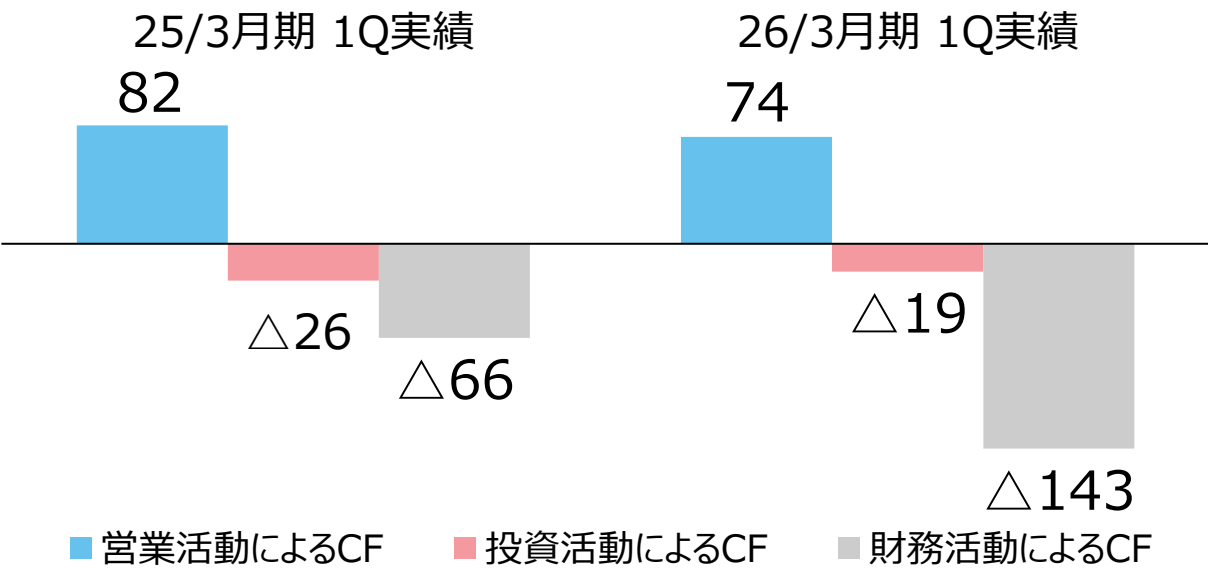
(単位：億円)	営業活動に係る利益			親会社所有者帰属当期利益				
	25/3月期 1Q実績	26/3月期 1Q実績	前年 同期比	25/3月期 1Q実績	26/3月期 1Q実績	前年 同期比	26/3月期 通期見通し	進捗率
ICTソリューション	14	23	+9	9	15	+6	105	14%
半導体部品・製造装置	3	6	+3	2	5	+2	14	33%
電子機器・電子材料	4	2	△1	2	2	△0	5	40%
モバイル	21	30	+9	14	20	+6	70	29%
電子・デバイス	28	38	+11	19	27	+8	89	30%
食品	5	5	+0	4	4	+0	7	53%
畜産	13	4	△10	7	2	△6	9	17%
食糧	18	8	△11	10	4	△6	19	23%
食料	37	17	△20	21	10	△11	35	27%
鉄鋼・鋼管	7	11	+4	3	8	+5	14	58%
エネルギー・化学品・プラント	9	3	△6	7	2	△4	18	12%
環境関連	6	1	△4	4	1	△3	6	8%
鉄鋼・素材・プラント	21	16	△6	13	11	△2	38	28%
航空宇宙	12	12	+0	8	7	△1	17	43%
車両・車載部品	3	1	△3	5	1	△4	3	43%
工作機械・産業機械	2	1	△2	1	0	△1	14	2%
車両・航空	17	14	△4	14	9	△5	34	26%
その他、消去	0	△1	△1	△1	△2	△0	△1	-
合 計	118	106	△11	75	70	△5	300	23%

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業収入の積上げや運転資本の減少などにより、**74億円のキャッシュ・イン**
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得や子会社の取得などの事業投資の実行により、**19億円のキャッシュ・アウト**
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
借入金およびリース負債の返済や配当金の支払いなどにより、**143億円のキャッシュ・アウト**

(単位：億円)	25/3月期 1 Q実績	26/3月期 1 Q実績	前年 同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	82	74	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26	△19	+6
フリーキャッシュ・フロー	57	55	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66	△143	△77
(調整後) 営業キャッシュ・フロー ¹⁾	61	△14	△75

1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済



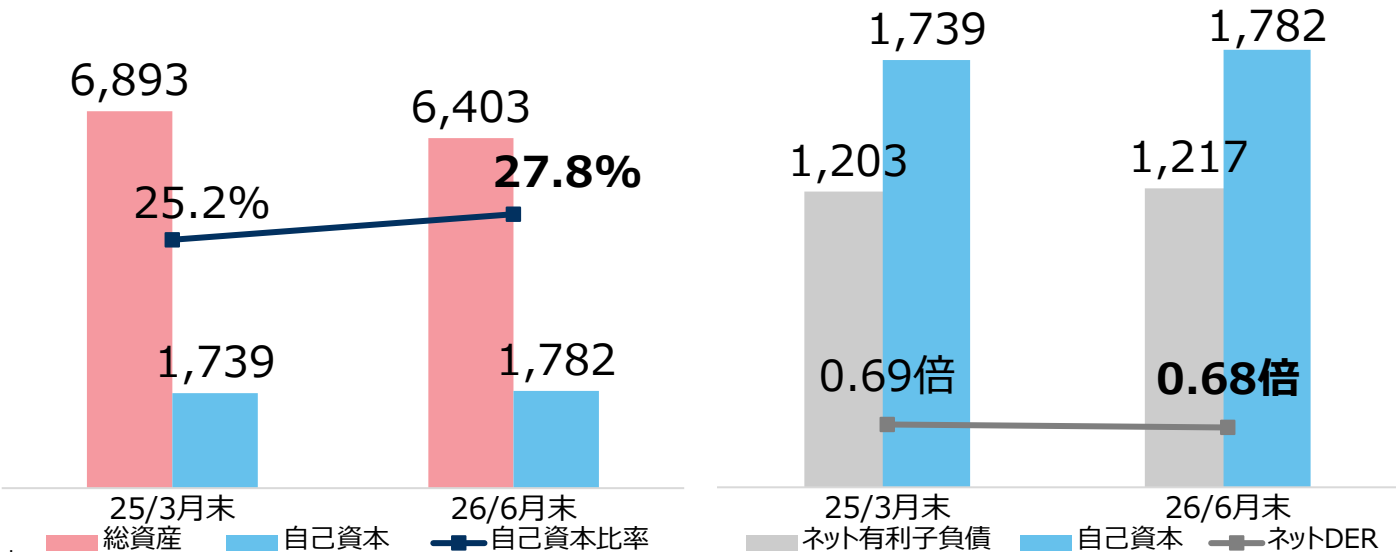
財政状態

- 総資産
売掛債権の回収など営業債権の減少等により、**490億円の減少**
- ネット有利子負債
借入金の返済を行った一方で、現預金の減少により、**14億円の増加**
- 自己資本
親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げなどにより、**42億円の増加**
自己資本比率は**27.8%**、ネットDERは**0.68倍**

(単位：億円)	25/3月末	25/6月末	増減
総資産	6,893	6,403	△490
ネット有利子負債	1,203	1,217	+14
自己資本 ¹⁾	1,739	1,782	+42
自己資本比率 ²⁾	25.2%	27.8%	+2.6%
ネットDER ³⁾	0.69倍	0.68倍	△0.01倍
PBR ⁴⁾	1.22倍	1.30倍	+0.08倍

1) 自己資本は資本の「親会社の所有者に帰属する持分」
2) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

3) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本
4) PBR = 期末時点の時価総額 (期末株価 × 発行済み株式数) ÷ 自己資本

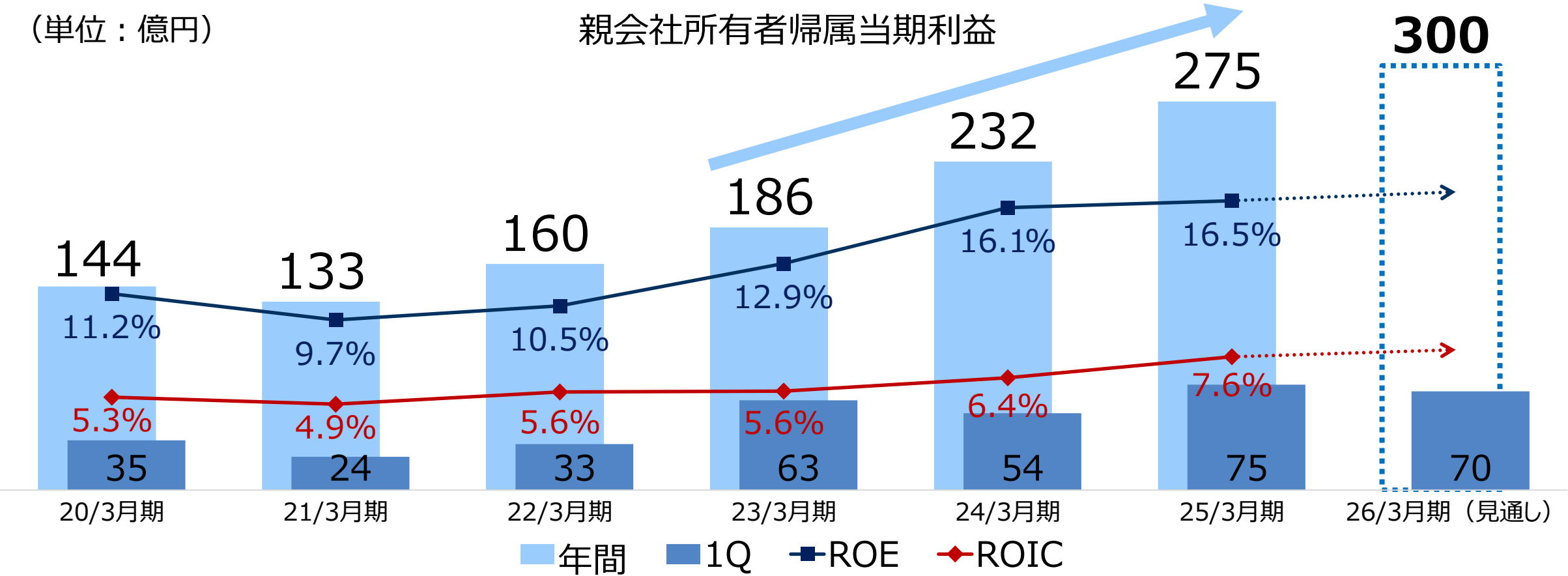


親会社所有者帰属当期利益の推移

- 2026年3月期通期の当期利益は、前期比25億円増益の**300億円の見通し**
- 第1四半期の四半期利益は70億円となり、通期見通しに対する進捗率は**23%**と堅調に推移

(単位：億円)

親会社所有者帰属当期利益



株主還元

- 2026年 3 月期の配当金の下限を当初の90円から105円に引き上げ
- 累進配当を実施し、2026年 3 月期の配当金は前期から10円増配の**115円**を予定
- 総還元性向は30～35%を目標とし、当期利益の成長に応じて配当金を引き上げる方針

